

事業報告書

1. 団体名	〇〇〇〇会
2. 事業名	〇〇事業（申請書と同じ事業名を記入してください）
3. 対象	事業の対象となった地域や地域住民を記入してください。
亀岡市民、市外の田舎に興味のある住民	
4. 期間	実施期間を記入してください。 対象期間は最大で令和8年4月1日～令和9年3月31日までです。
令和8年9月1日 ～ 令和9年3月31日	
5. 地域課題・事業目的	支援金申請書に記入した、地域課題・事業目的を改めて記入してください。
課題 （申請書に記載した課題を記入ください） 事業の目的（上記の課題をどのような解決結果に導きたいのか） （申請書に記載した目的を記入ください）	
6. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。 （実施日、場所、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など） また、交付決定に記載の条件・アドバイスに対してどのように取り組んだのかについても記入してください。
イベント名	「環境フォーラム」
事業概要	「環境フォーラム」では、講師に亀岡太郎さんを招き、「環境と亀岡」というテーマで講演会を開催した。講演では、亀岡の自然環境の重要性や地域の取り組みについてお話いただき、参加者に環境保全の必要性を感じてもらう内容となった。 講演会終了後には、参加者同士で地域の課題について話し合うワークショップを実施し、意見交換を通じて具体的な活動への発展を促した。 参加者に対してアンケートを実施したところ、以下の結果が得られた。 満足度：95% 参加者の意見 「亀岡にある自然の魅力を改めて知り郷土愛が強くなった」 「講演会をきっかけに活動に参加しようと思う」 参加者のうち、10%が今後の活動に参加したいと回答し、実際に入会された方がいた。

交付決定に 記載の条 件・アドバ イスに対 しての取 組 み内容	参加者の多様性を確保するというアドバイスに対して、広報活動を強化し、地域の異なる層（学生、主婦、高齢者、地域活動に興味のある市民など）に向けた参加呼びかけを行った。また、地域の団体と連携し、各団体からの参加者を募ることで多様な視点を取り入れる努力をした。これらの取り組みの結果、学生、高齢者など多様な層が参加した。 講演後の参加者フォローアップを行うというアドバイスに対して講演会終了後、参加者へのフォローアップとして、定期的にメールニュースを配信し、環境活動に関する情報や今後のイベント情報を提供しました。また、興味を持たれた参加者には個別に連絡をし、活動への参加を促進した。
開催日時	9月1日
開催場所	ギャラリーかめおか大広間
参加費	500円
参加者数	150名
イベント名	耕作放棄地の整備作業
事業概要	当日は、草刈りや土壌の改良などの作業を行い、参加者全員で力を合わせて整備を行った。また、作業前には地域の環境問題に関する説明会を実施し、参加者が耕作放棄地への理解を深める機会を提供した。地域のつながりを強化することによって、参加者同士の交流を促進し、今後の活動にもつながるネットワークの構築ができた。作業が終わった後には軽食を用意し、参加者同士がリラックスして話し合える時間を設けて、持続可能な地域活動の意義を感じることができるようにした。
交付決定に 記載の条 件・アドバ イスに対 しての取 組 み内容	作業の進捗を記録し、成果を共有するというアドバイスに対して作業中に写真や動画を撮影し、整備前後の成果を記録した。イベント後には、集まった成果を地域のSNSやニュースレターで共有し、参加者の活動を振り返りつつ、次回のイベントへとつなげる機会を作った。
開催日時	11月22日（日）9:00～12:00
開催場所	亀岡市内の耕作放棄地
参加費	無料
参加者数	20人参加
7.成果と 課題	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を下記の～ごとに記入してください。

実施結果数値（6.で記入した事業の回数や参加者数などをまとめてご記入ください）

イベント実施 ○回 参加者 計 ○○人

メンバーによる会議 ○回 延べ○人参加

通信の発行 ○回 計○通配布

事業による変化・成果（課題解決にどのような効果があったのか）

イベントへのリピーター参加者○人（うち○人は地域外から）

メンバー新規加入○人により人手不足の解消

イベントを通して新たに・・・に取り組み始めた住民○人

事業を実施しての課題

目標まで実施回数を増やすには引き続き人手が足りない。

情報発信についてSNSを使いこなせる人が少ない。

参加者が増えたが、固定化してきたので、未参加の住民への声掛けが必要。

8.協働の効果	今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。	
〇〇団体の SNS でイベントの広報に協力してもらい、フォロワー〇人に周知。そこから〇人参加があった。今後も引き続き広報協力をお願いする。		
9.今後の展開	事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。	
	実施内容	資金獲得方法（助成金・寄附金）
2年目	学生ボランティアを募り、〇〇イベントの開催。	参加費・助成金
3年目	〇〇事業も展開する。	イベント参加費・物品売上金

チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。